

372
77

私達の愛唱歌集
第一編



東京 新興音楽出版社 發行



Her Bright Smile Haunts Me Still

秋夜懐友

W. T. Wrighton

Andante

5. 5 | 3. 3 2 1 | 5 - 6. 7 | 1. 3 6 5 |
 タ ナ レ ノ フ ゴ ト ト モ ニ カ キ ナ
 は し る の ゆ ふ ベ て を と り か は

2 - 5. 5 | 3. 3 2 1 | 6 - 1 2 | 3. 5 3. 2 |
 デ ス ミ ユ タ ツ キ ヲ メ デ シ モ イ マ
 し ゆ く す ぬ か け て こ よ ひ の ご と

1 - 3 3 | 3. 6 5 6 | 3 - 6 7 | 1. 1 7 6 |
 ハ ユ メ ト ス ギ ツ ツ ト モ マ タ ト ホ
 と ち か ひ し も の を そ の と も い ま

rit.

3 - 3 3 | 3. 6 5 6 | 3 - 6. 7 | 1. 1 2 2 |
 ク ワ レ ノ ミ ヒ ト ヲ サ ビ シ キ マ ド
 は う み や ま と ほ き か な た の さ と

a tempo

3 - 3. 3 | 3. 3 2 1 | 5 - 6. 7 | 1. 3 6 5 |
 ニ カ ハ ラ ス ツ キ ヲ ナ ガ メ ゾ ア カ
 に な き ゆ く か り を い か に か き け

2 - 3. 4 | 5. 5 4 3 | 6 - 1. 2 | 3. 5 3 2 | 1 - ||
 ス ト ワ タ ル カ リ ヨ オ モ ヒ ヲ ハ コ ベ
 る み そ ら の つ き よ お も か げ う つ せ

Rocked in the Cradle of the Deep

たゆたふ小舟

Moderato

J. P. Knight

0 - 0 0 5 | 5. 5 4 5 1 2 | 3 - 3 3 2 3 |
 タ ユ タ フ ラ ブ ネ ニ - ミ ナ カ
 よ あ ら し ふ く と も - し ら す

5 - 5 4 3 2 | 1 - 0 5 | 5. 5 4 5 1 2 |
 ラ - タ ヨ リ ヲ ナ ミ ノ ヘ ウ ラ ウ
 よ - う れ ひ は あ ら な み さ か ま

3 - 3 3 3 4 | 5 4. 3 7. 7 | 7 - 0 3 | 3. 3 2 3 4. 3 |
 ラ - イ ラ バ ヤ - ネ ム リ ニ ミ メ グ ミ ア マ ネ
 き - こ の み は - し づ む も と は な る い の ち

mf *p*

b2 - 0 2 | 2. 2 4 2 3. 2 | b1 - 0 5 | 5. 5 4 5 1 2 |
 シ マ モ ラ セ タ マ ヘ ナ ヤ ス ラ カ ニ ネ ム
 を か み こ そ た ま は め や す ら か に ね む

p *pp*

3 - 5 0 | 5 5. 5 5 4 3. 2 | 3 - 0 5 |
 ラ ナ タ ユ タ フ ラ ブ ネ ニ ヤ
 ら な た ゆ た ふ を お ね に や

5. 5 4 5 1 2 | 3 - 5 0 | 5 5 5 4 5 3. 2 | 1 - 0 |
 ス ラ カ ニ ネ ム ラ ナ タ ユ タ フ ラ ブ ネ ニ
 す ら か に ね む ら な た ゆ た ふ を お ね に

雁の叫び

鳥居 欽

雁の叫び 霧立つ空の
雁の叫び 何處をあての
旅より旅に
まよひやすらん。
あはれなる その聲よ
思ふか父を
雁の叫び
偲ぶか母を
雁の叫び 燈火くらき
假寝の窓に 月影さして
さなきだに 寂しきを
わが夢 やぶる
雁の叫び 人家もねむる
雁の叫び.....

ホーム ソング

伊 庭 孝

むかし覺えたあの歌 懐しいあの歌
幼い時に覺えた あの歌のおもひで
遠く離れ さまよふとも
其の歌うたへば
過ぎし日をば思ひ出でて
我が家へ われを運ぶ。
今の懐みのうちにも 我は聴くあの歌
幼い時のあの歌 おもひ出を新たに
遠く離れ さまよふとも
その歌うたへば
過ぎし日を思ひ出でつ
我が家へ われを運ぶ。

秋 夜 懷 友

犬 童 珠 漢

手なれの小箏 共にかきなで
澄みゆく月を めでしも今は
夢と過ぎつゝ 友亦遠く
吾れのみひとり 淋しき窓に
變らぬ月を 眺めぞあかす
とわたる雁よ 思ひを運べ。

たゆたふ小舟

近 藤 朝 風

揺蕩ふ小舟に 靈能たよりて
波の上うらうら入らばや眠りに
聖惠あまねし 擁護らせ給へな
やすらかに 眠らな揺蕩ふ小舟に
やすらかに 眠らな揺蕩ふ小舟に
やすらかに 眠らな揺蕩ふ小舟に
夜嵐吹くとも 知らずよ愁よ
激浪逆捲きこの身は沈むも
久遠なる生命を 神こそたまはめ
やすらかに 眠らな揺蕩ふ小舟に
やすらかに 眠らな揺蕩ふ小舟に
やすらかに 眠らな揺蕩ふ小舟に。

端居の夕べ 手をと리카はし
行く末かけて 今宵の如と
誓ひしものを 其の友今は
海山遠き 彼方の里に
なきゆく雁を いかにかきける
み空の月よ 佛うつせ。

=容内の書本=

=葉言の者著=

日本の子守唄・かたつむり・天長節・紀元節・二月一日夜
 の梅・荒城の月・助船・臘月夜・故郷・鎌日蓮の花雪の夜
 山の朝・春の雨・彌祭・更けゆく夜・初夏の夜・手毬遊び・
 満洲國の子供・たなばた・港・カレドニア・瀬戸の船頭
 シューベルトの子守唄・旅愁・秋の夜半・哀の少女・夕べ
 の鐘・サントルチア
 以上

子供達が最も好んで歌ふ歌曲を選び、それを平易に
 編曲したのがこのピアノ曲集です。この曲はバイエルの
 弾ける程度の人々には誰にも弾けます。
 獨奏曲は初學者の爲に、右手も左手も多く高音部記
 號で書き、どの曲にも自學自習用の鍵盤圖と、美しい
 挿繪とを添へておきました。
 聯彈曲は今までの聯彈曲の缺點とも云ふべき、左(低
 音部)の演奏者の單調と無味乾燥とを防ぐために、こ
 の部の旋律と和音とに努力を拂つて編曲し、曲の旋律
 は高音部の演奏者と低音部の演奏者とが交互に演奏す
 るやうに編曲しました。演奏會向きの曲ばかりです。

坊田かずま著 各曲自習用鍵盤挿繪付
 新興兒童
 ピアノ曲 獨奏と聯彈曲集
 定價 壹圓 送料八錢

(呈進代無録目總樂音興新)



昭和十一年十二月一日印刷
 昭和十一年十二月五日發行
 版權 所有 不許 複製
 編者 山本芳樹
 印刷者 草野貞二
 發行者 草野貞二
 東京市澁谷區戸塚町四ノ五九〇
 新興音樂出版社
 電話牛込四二二二二番
 振替東京四二九八一番

定價金四十錢

MADE IN NIPPON (JAPAN)